

第220回福井県原子力環境安全管理協議会 議事概要

原子力安全対策課

1. 日 時 令和5年1月24日（火） 15時00分～16時30分
 2. 場 所 （公財）若狭湾エネルギー研究センター 第1研修室
 3. 出席者 別紙のとおり
 4. 議 題
 - (1) 原子力発電所周辺の環境放射能測定結果（令和4年度 第2四半期）
 - (2) 原子力発電所から排出される温排水調査結果（令和4年度 第2四半期）
 - (3) 発電所の運転・建設および廃止措置状況（令和4年10月～令和5年1月）
 - (4) 敦賀発電所2号機の今後の審査について
 - (5) 高浜発電所に係る事前了解願いの概要について
 - (6) 「今後の原子力政策の方向性と行動指針(案)」について
 - (7) 「高経年化した発電用原子炉に関する安全規制の概要(案)」について
 5. 配付資料 別紙のとおり
 6. 議事概要
 - 議題説明
 - (1) 原子力発電所周辺の環境放射能測定結果（令和4年度 第2四半期）
[県 原子力環境監視センター 谷口 所長より説明]
 - (2) 原子力発電所から排出される温排水調査結果（令和4年度 第2四半期）
[県 水産試験場 吉村 場長より説明]
 - (3) 発電所の運転・建設および廃止措置状況（令和4年10月～令和5年1月）
[県 原子力安全対策課より説明]
- ・質疑なし

○議題説明

(4) 敦賀発電所2号機の今後の審査について

[原子力規制庁 西村 地域原子力規制総括調整官より説明]

(5) 高浜発電所に係る事前了解願いの概要について

[関西電力株式会社 田中 副事業本部長より説明]

・質疑なし

○議題説明

(6) 「今後の原子力政策の方向性と行動指針(案)」について

[資源エネルギー庁 前田 原子力立地政策室長より説明]

(県議会：田中 委員)

- ・ 今後の展開の中で、資料13ページに発電所をいつまでに再稼働等の記載があるところについて、今、行動指針案等々のパブコメを取られて、昨日から国会も始まり、今後様々な展開があると思うが、大体いつごろまでに法案の整備等々を終わらせるつもりか。
- ・ 資料25ページの革新炉の開発・建設というところで、電力市場制度の在り方の検討の具体化を推進ということで今並行して進めているという話であった。これについては数年前に震災後、電力システム改革を国の方でしっかり進めてこられたようであるが、これが事業者の事業環境が悪化した遠因になっていると私は思っている。早急に改善をしていただきたいが、いつごろまでに新たなシステムを導入されるのか。

(資源エネルギー庁：前田 原子力立地政策室長)

- ・ 13ページの内容については、法律事項も含まれており、この関係法令についてはまだ最終的な形は決定していないが、昨日始まった通常国会で審議をいただくべく、今検討の方を加速しているという状況である。特に、現在の運転期間については法制度の方で定まっているという実情も踏まえて検討ということになるかと思う。
- ・ 次世代革新炉の開発、ファイナンスについてのご指摘については、長期脱炭素のオークション制度というものの検討もしているところである。市場についてはご指摘の通りまだまだ課題もあり、これもできるところから一步一步ということで、来年度、あるいは再来年度から新しい市場の仕組みが動いていくように検討を加速している。

(県議会：田中 委員)

- ・ 前回の電力システム改革は、震災後の事業者自体がかなり弱っているときに強引に進められたという経緯もあるので、そういったことも含めて十分に検討いただきたい。
- ・ サプライチェーンをしっかりと確保していくということも当然重要であるが、新たな炉というだけでなく、運転延長もしており、安全を確保するためにも、地元で今頑張ってメンテナンス等々している事業者の皆さんにもしっかりと恩恵があるような事業者の事業環境の整備というものも含めて検討いただきたい。

(資源エネルギー庁：前田 原子力立地政策室長)

- ・ 原子力は、非常に多くの地元の方を含め支えられている産業、事業であるので、次世代革新炉のみならず、そういった皆様とともに歩んで伸びていくというところを意識してしっかりと環境整備の方もしていきたい。

(高浜町：野瀬 町長)

- ・ 福島の事故から10年以上経って、今回のGX、カーボンニュートラルと、大きく潮目の変わる中、これまでは経済的な観点は置いておいて、とにかく安全性という位置づけであった原子力が、利用政策の観点に変わってきたかと思う。
- ・ これまではコスト意識はある意味ないくらいの勢いで、追加投資も含めて、安全最優先だったと思う。次世代炉のことなどいろいろ夢のある話もあるが、新型炉に関しては相当なイニシャルコストもかかるように聞いている。
- ・ 予見ができない要素が多い原子力発電、今現在、いろんなリスクがあり、規制をしっかりとやらせれば審査期間が伸びて、稼働が遅れるということがあるかもしれないし、司法のリスクは何ともしがたいものがあるし、いろいろなことがあるかと思う。
- ・ 加えて、電力の自由化で非常に事業環境が厳しくなっている中、次世代の国の方針として進めるから事業者頑張れと言っても、事業性がないとそこまでの投資に踏み切れるかということもあるかと思う。
- ・ そうなってくると既存炉の最大限の活用ということがかなり長期間にわたることにもなってくると私自身考えている。
- ・ その意味では、総括原価方式の良さも今から思えばあったと思う。自由化することによる瞬時的な需要サイドのメリットはあったかもしれないが、供給サイドがガタガタになって、結局今回のようなことになると需要サイドにも影響するという反省も十分感じられていることかと思う。
- ・ 美しい上澄みの話だけじゃなく、10年間に起こった様々なことを教訓としてとらえていただいて現実感のある対応を一つ一つ積み上げていただきたい。
- ・ 先ほど協力会社の話もあったが、事業者の体力がなくなると、地元の協力会社の発注の量や単価などを絞らざるを得ないということになると思う。
- ・ 立地が大事だという掛け声はありがたいが、そういった部分も含めて事業環境全体を俯瞰して問題点を解決していただかないと、非常に美しい言葉は並ぶけれども、立地としては前の方がよ

かったという話にもなりかねないので、その辺をしっかりとお願いしておきたい。

(資源エネルギー庁：前田 原子力立地政策室長)

- ・ 電力自由化の下での事業環境の整備は、政策の遅滞の一つとして掲げているところである。電力自由化については、一定の成果もあったが課題も多いというのも事実である。そして何より安全最優先の中で事業環境がしっかりと整備され、新規の電源投資だけでなく既存の安全対策投資というところも十分に講じられていくという環境が大事と私どもも思っている。
- ・ そのための仕組みは、市場については不断の見直しをしながらということであるが、長期で投資の回収の予見性を与えるような仕組みとして、脱炭素の電源、こういった検討も今行っているところであるし、また、決してそれですべてということでもない。
- ・ 不断にこの制度の改善をしながら、地元の皆様に発注をされるというところは、まさにこの安全に向けての取り組みの一環ということでもあるので、こういったところもしっかり進んでいく環境整備も進めていきたい。

(福井県：櫻本 副知事)

- ・ 田中県議、高浜町長のご指摘、本当に現実の問題として重く受け止めていただきたい。

(県議会：力野 委員)

- ・ バックエンドのこともしっかりと進めていただきたいというのが立地の強い思いである。長期的に活用して、「はい終わりました」ということでは立地はなりゆかない。
- ・ 「新しい革新炉を」というのは、後ろをしっかりとやっていくという意味合いもあると思っており、立地としてはバックエンドについてもしっかりとやっていただきたい。
- ・ 立地地域の方はある程度、原子力についての理解はあるが、国民全体がそうであるかと言えばまだまだ決してそういう状況ではない中で、今回の議論が立地地域の問題ではなく国民全体の問題であるということを、国がしっかりと説明する責任がある。
- ・ 説明があった中で、今の電気料金を見ればわかるように、国民が本当に困っていると、そういったことをしっかりと国の責任で説明していただきたい。

(資源エネルギー庁：前田 原子力立地政策室長)

- ・ バックエンドについては、次世代革新炉の開発建設を進めていくにあたって、当然六ヶ所再処理工場もそうであるが、しっかりと進めていく方針である。
- ・ 最終処分についても今以上に働きかけを強化していく方向で進めているところであり、バックエンドについても全国の問題としてしっかりと進めていきたい。
- ・ 国民理解について、燃料費の関係も私自身も改めて立ち返って勉強させていただいたので、大変具体的な意見をいただいたこと改めてお礼申し上げる。
- ・ 国民理解と言ったときに様々な意見を持っている方がいるし、場によってあるいは発信方法によって届く方々、意見をお持ちの方々がまた違うという実情もある。

(資源エネルギー庁：前田 原子力立地政策室長) 続き

- ・ 今回は、まず19日に名古屋、そして東京、2月3日に大阪を予定しているが、そういった意見交換の場においては比較的多く慎重な意見をいただくという実情もある。
- ・ 一方でウェブサイトなどでは、あまりエネルギーに関心を持たれていなかった方に理解が進むという側面もあり、現在「エネこれ」(みんなで考えよう、エネルギーのこれから。)というホームページを立ち上げて、動画で3000万回再生くらいご覧いただいている。それぞれメッセージも工夫しながら、ご指摘の点もよく踏まえながら、そういった活動を強化していきたい。

(県議会：力野 委員)

- ・ 東京電力も30%ぐらい値上げするというニュースが出ているということで、ほとんどの電力会社が本当に大変な状況にある。エネルギーなのでこれは直接国民の負担になる。
- ・ ウェブも良いが、オールドメディア、全国版の新聞等にも継続的に現状をしっかりと把握してもらうための施策をしっかりとやっていただきたい。
- ・ 立地が再稼働など大変な議論をしながら認めていった中で、立地がややもすると非難されるようなことが過去に起きており、重ねて国の責任としてしっかりとやっていただくことを要望する。

(資源エネルギー庁：前田 原子力立地政策室長)

- ・ 去年の2月頃に全国紙に掲載するなど、試行錯誤しているが、いろんな形で継続的に行い、そしてその結果を次に活かしていくことが大事だと思う。
- ・ 本来は我々電力を享受している身とすれば立地地域の皆さまには感謝の念が絶えない立場であるはずであって、それが違う目で見ている方というのは大変残念な現象かと思う。そうした人に少しでも多く理解が広がるように精いっぱいやっていきたい。

(美浜町：戸嶋 町長)

- ・ 将来を見据えた新たな原子力政策への第一歩という印象を受けた。我々立地地域は、リスクを負いながらしっかりこの原子力政策を受け入れているという地域である。
- ・ 安全を最優先に取り組んでいくということをしっかり謳われているし、また立地地域との共生をしっかりと図っていくということも記載されているが、まさかの時の安全安心の最大限の確保という観点で、しっかり踏み込んで新たな政策の中に搭載をいただきたい。
- ・ 事故が発生した時に機動的に制圧ができる制圧道路、避難道路の多重化、強靱化、さらには原子力防災避難計画の実効性の向上等々も含め、一連の形で政策の中に反映していただくことをぜひともお願いしたい。

(資源エネルギー庁：前田 原子力立地政策室長)

- ・ 制圧道路の関係については、町長からも度重ねてのご要望を私どももいただいている。やはり地域の住民の皆様、原子力発電所が近くにある、そういった住民の皆様にとって、まさかの時、これ

はあつてはならないわけであるが、やはり安全安心の観点からそういう備えをしておくという事は非常に大事な事だと思っている。政府一体として充実に向けて取り組むというところはまず非常に重要なところである。

- ・ 道路は国土交通省も関係するが、内閣府、私ども、福井県も含めて、様々な方々としっかり議論をしながら一步一步前に進めていきたい。
- ・ なかなか結果としての形が伴わないという歯がゆさは私自身も感じるころではあるが、しっかり関係省庁一体で一步一步進めていきたい。

○議題説明

(7)「高経年化した発電用原子炉に関する安全規制の概要(案)」について

[原子力規制庁 西村 地域原子力規制総括調整官より説明]

- ・ 質疑なし